

道 教 組

DOKYOSO NEWS vol.527



道人事委員会勧告 (速報)

教職員の長時間過密労働を考える

「来てくれ」から「来てほしい」をめぎす(青年部)

「診察室から見える大人のつらさ、子どものつらさ」(香山リカ氏講演より)

“ぼっち”じゃない……ひとり分会から……その④

わたしのとっておき

2017道人事委員会勧告

月例給0.13%アップ ボーナス4.3月→4.4月へ



10月6日、北海道人事委員会は道職員・教職員の給与等に関する勧告を行いました。公民較差で減額前の道職員給与より民間給与が0.13%上回り、一時金についても民間支給月数が、道職員の年間支給月数を0.10月上回っていることから、月例給を人事院勧告の内容に準じ引き上げ改定、一時金を4.4月に改定する勧告を行いました。

道教組・道高教組は公務共闘に結集して2度の交渉を行い、「全ての職員の賃金改善」「超勤縮減」「希望者全員の再任用」などを求めてきました。月例給の4年連続の引き上げや一時金の「国並み」への引き上げを勧告したものの、484円（0.13%）の引き上げ率は、食品や外食で値上げが相次ぐ中、40代以降は現給保障の経過措置期間のため実質賃金改善がないことを考えると、生活改善には程遠い引き上げ額です。

11月からは道教委との賃金確定交渉が始まります。交渉の場で職場の声を道教委に届けるため、「賃金署名」にとりくみ、全道教職員と家族の実態を考慮した誠意ある労使交渉を行うことを強く求めていきましょう。

道人事委員会勧告の主な内容

- ①公務の月例給が民間より、0.13%低いので、給料表を引き上げる。初任給1,000円引き上げ、若年層も同程度の改訂。その他の層は400円の引き上げ。
- ②ボーナスは、公務が4.30月、民間が4.39月だっ

たので、0.10月引き上げ4.40月にする。再任用は0.05月引き上げ2.3月とする。配分は勤勉手当へ。

- ③2017（H29）年、4月1日から実施する。
- ④仕事と家庭の両立のため、子育て支援のとりくみ着実にすすめ、家族の介護を支援するとりくみを行う。
- ⑤長時間労働抑制のため、教員については、適切な勤務時間の把握や、事務処理業務、部活動指導業務の負担軽減などの具体的なとりくみを検討・実施することが必要。

道教委交渉強化のための「賃金署名」を職場で集めてください！

1次〆切11月6日 2次〆切11月13日

ゆきとどいた教育の充実と衆議院選挙の結果について

衆議院選挙の結果、自民党の勝利、立憲民主の前進などで幕を閉じました。この結果、教育政策にどのような影響が出るのでしょうか。

自民党は、2020年までに3歳から5歳まですべての幼稚園・保育園の費用を無償化。公明党は、2019年までに0歳～5歳までの幼児教育無償化。与党は幼児教育を重点に訴えています。義務教育・高等教育について財政措置はほとんど政策にありません。しかも安倍政権は、消費税10%増収分で、子育て世代への投資を行うとしています。これでは、消費税が人質になっているのです。

わたしたちは、「ゆきとどいた教育」のため、日本の教育予算GDP比3.2%をOECD諸国並み（4.5%）教育予算にすることめざしています。

政府・文科省に対する35人以下学級推進、教員定数改善は、国民的運動で打開しましょう。

教職員の長時間過密労働を考える

教職員の働かされすぎ改善は ゆきとどいた教育実現の第一歩

異常な勤務実態の調査結果

教職員の働き方は異常です。長時間過密労働の改善で、子どもたちのために、もっと授業準備時間の確保を！

1 文科省による教員勤務実態調査 (H28年度)

1) 学内勤務時間

- ・小学校教諭 11時間15分 (+43分)
- ・中学校教諭 11時間32分 (+32分)
- ・小中副校長・教頭 12時間12分 (+49分)

2) 持ち帰り業務

- ・小学校教諭 平日29分 (-9分)
土日1時間08分 (-18分)
- ・中学校教諭 平日20分 (-2分)
土日1時間10分 (-29分)

3) 時間外勤務 (週60時間以上の学内勤務)

勤務時間は週38時間

- ・小学校34%、中学校の58%が、月80時間以上の時間外労働

2 道教委による教育職員の時間外勤務等 にかかわる実態調査 9月8日発表

1) 学内勤務時間

- ・小学校教諭 10時間16分 (-3分)
- ・小学校教頭 12時間05分 (+15分)
- ・中学校教諭 10時間33分 (-22分)
- ・中学校教頭 11時間53分 (-28分)
- ・特別支援学校教諭 9時間25分 (-32分)
- ・特別支援学校教頭 12時間03分 (-15分)

3 全教のとりくみ

全教は2月16日、文科省に対し「学校現場にお

ける業務の適正化」にかかわって申し入れ、実効ある改善を求めた。とりわけ、部活動ガイドラインへの教職員の意見反映、平日、休日の部活動休養日の設定について強く要請しました。

4 文科省のうごき 部活動指導員を省令で明確化する方向

1) 文科省は3月14日、中学校と高校の部活動の外部指導員を学校職員として位置付けるとした省令を公布。4月1日から施行されています。

2) 文科省がこの間進めてきた「チーム学校の体制整備」や「次世代の学校指導体制にふさわしい教職員の在り方と業務改善のためのタクスフォース」などのとりくみについて一層の改善を要する見解を明らかにしました。

5 よく考えた職場・分会のとりくみを

1) 職場・分会での論議をしましょう

- ・働き方改善アンケート結果を分会会議や職場で話題にする。
- ・年度末反省、年度初めの職員会議で、「定時退勤日」や「ノー部活デー」、業務の見直し等について話し合う。

2) 管理職との交渉・話し合い

- ・管理職と時間外勤務等縮減について話し合い、「定時退勤日」「ノー部活デー」、業務の見直し等の具体的な実行を求める。

3) 市町村教育委員会へ要請

- ・市町村の教育委員会に、時間外勤務等縮減の実効ある通知や具体的施策を求める。
まずは勤務時間の把握から。

4) 道教委との交渉

- ・働き方改善アンケート結果を使っての交渉、勤務時間の割り変更の拡大、勤務時間の把握などを求める。

大人、社会のあり方の問題として、子どもの権利条約を考える～北・東北B教組共闘学習交流集会



震災・原発事故から6年、この集會に福島と宮城から特別報告がありました。「もう6

年たった」のではなく「まだ6年しか」なのだというのを感じさせてくれた報告でした。

山崎利次さん(宮城大学准教授)の講演での「子どもの権利条約を、それを保障する大人、社会のあり方の問題としてとらえなければならない」という指摘は、新鮮なものでした。

2日目は、3つの分科会での討議が行われ、私は教育条件整備・教育運動の分科会に参加し、教育キャラバンについてを中心に報告しました。各県で、カラーは違えど同じように奮闘を続けている様子に、心強さを感じて、帰路に着きました。

道教組書記の相田さん、宗谷教組書記の中村さんも参加し、各県の書記さんと交流を深めてきました。(道教組委員長：川村安浩)

「さようなら原発北海道集會」に2,500人

「STOP再稼働!さようなら原発北海道集會」が10月9日、札幌市内で開かれ、全道から1,500人が集まりました。小野有五さん(北大名誉教授)は「北海道は電力の余裕がある。原発は全く必要ない。1日も早く泊原発は廃炉に」と呼びかけました。



青年部企画「オトナの宿泊学習」

10月7日、小樽駅に遠くは宗谷から青年部組合員6名が集合し、余市のニッカウキスキー醸造所見学、そして夜は小樽で交流会を開催しました。未加入の若い女性教員も交流会から参加し、食べきれないほどのおいしい



料理とお酒を愉しみながら、組合や共済会の話も交え、教育実践や職場の様子などを交流しました。

「来てくれ」から「来てほしい」をめざす～全教青年部総会に出て

総会の雰囲気を一言で表現すると、「大学のゼミ」をイメージします。活動内容としては、大きく「情勢を学ぶ」、「各組合の活動報告」、「何気ない愚痴や四方山話」の3つに分かれます。強制ではなく自主的な学び、テーマを絞っての討論、しかし固すぎず緩すぎず、同世代の仲間であるから



こそ言える雰囲気や話があります。

道教組青年部は、人数の少なさによる停滞した雰囲気、物理的な集まりにくさが課題です。私がまずめざすのは「顔が見える」活動です。「誰か来るだろう、来てくれ」ではなく、「あなたに来てほしい」と発信先の相手を意識します。SNSによる便利な発信ツールはありますが、最後に繋がるのは「人と人」です。

昨今、ロボット生産のような脅威が教育現場にあります。効率性の追求が「人間らしさ」を失わせていると心配です。デジタルな時代でも、教育の在り方はアナログに。僕は声があれば、全道どこでも繋がりたい…共に歩む仲間と。(道教組青年部長：富樫耀)

「さっぽろ子育て・教育フェスタ」での香山リカさん(精神科医)の講演から、その一部を紹介します

「診察室から見える大人のつらさ、子どものつらさ」

香山 リカ (精神科医・立教大学 現代心理学部教授)

「うちの子も発達障害ではないか」と

……最近、発達障害が問題になっています。3つあります。自閉症スペクトラム。コミュニケーションがうまくとれなかったり、1つのことに、こだわりが強くなってしまふ。気が散りやすく落ち着きがないADHD。ある教科だけが非常に苦手という学習障害。

この中でも特に自閉症スペクトラムが気にされていますね。治療が必要な場合とあまり気にしすぎなくてもよいものがあります。「こんな心配があります。早期発見早期治療が必要です」という声が大きくなりすぎていると思うんです。報道などでの特集番組も多いですね。学校に普通に行っているのに、「うちの子も発達障害ではないか」と来院される方が多いですね。厳密に言えば、どれかにあてはまると言えるのかもしれませんが、その子の持ち味として考えてもいいのではと言うことです。

若い時の脳は、アンバランス

子どもの脳は全体が一斉に成長するわけではないのです。イントロで曲をあてるのが得意だけど絵を覚えるのが不得手という人、逆に人の服装をよく覚えていて「〇〇ちゃんは白いブラウスでピンクのカーディガンでかわいい模様がついていたよ」という人もいます。若いときは、そのアンバランスが目立ってしまうことがあります。あることができていることができず、学校では得手・不得手の教科が目立つこともありますね。

でも、大人になるうちに劣っているように見える部分もうまく成長したり、ものすごく得意だと思っていたこともだんだん人並みになってしまうなんてこともあります。子どもの時は神童と言われていたけど、大人になったら普通の

人なんてことですよ。年を経るとバランスがとれてくるんです。もちろん、3歳児検診の時などで、他者に目を全く合わせないとか、言葉が出てこないなど、早期に診断し、適切な療育・



ケアをした方がよいケースもあると思いますが、

あんまり若いときに、この子はなんかいびつなところがある、発達障害があるのではないかと神経質になる必要はない。すぐに病名をつけて、この人は発達障害のこのタイプだとかというように思いすぎる必要はないのではないかと考えるのです。

長い目で見ないと全然わからない

30年ぶりに中学の同窓会に行くと、研修医の頃、勝手に同級生を思い起こし、「ADHDではないか」と思っていた人が、手広く事業をやりものすごい風格で落ち着き払っていました。勝手に「自閉症だ」と思っていた人が美容室を経営していて社交的な人になっていましたね。私は誰にも言っていないんですが、心の中で本当に恥ずかしいと思いました。長い目で見ないと全然わからないんですね。私なんかよりずっと社交的になっていたり、ずっと落ち着きがでていたりするわけですよ。

子どもや若い人には、いくらでも変わる・成長するという見方が大切だと考えるのです。早く診断をつけよう、早く専門家に診てもらおうなんてことはいらぬのではないかと私は考えています。

※全胆振教組が12月16日14時より苫小牧市で、香山リカさんの教育講演会を行う予定です。

ゼンキョウ

ってどうですか

組合に入って1年以内の方に、「ゼンキョウって、どうですか？」に声を寄せていただきました。

子どもたちに希望の持てる未来を

堀江 寿春さん(苫小牧市立和光中 教諭)

現在、教員生活23年目。初任と同時に某組合に入り、これまでいくつかの役職も経験させていただきました。その中で学んだことも数多くありましたが、疑問に思う



ところも、また数多く…。そんな中、高橋勇先生から道教組へのお誘いの言葉がありました。「これも何かの縁」と、自分の当てにならない直感(笑)を頼りに、道教組に入ることを決めました。

教員生活の折り返しとはいえ、まだまだ勉強不足の所もたくさんありますので、これからも謙虚な姿勢を大切に、先輩からも後輩からも学んでいこうと思っています。混沌とした今の日本だからこそ、これまで以上に組合の重要性、必要性が高まっています。個人の能力と仲間同士の結束力により、組織の力が最大限に発揮されるはずです。一人でも多くの仲間とともに、子どもたちに希望の持てる未来を築き上げたいと思っています。

〴〵仲間、は予想以上の安心感

熱海 春奈さん(利尻富士町立鷺泊小 事務職員)

事務職員が1人職であることに不安を抱えていた私に、分会長さんが組合のことを教えてくださいました。先輩事務職員さんは勿論、たくさんの先生方と関わり合うこ



とができたらと思い、加入致しました。

分会会議や、同じ島内の先輩組合員さんたちのお食事会、学び愛フェスタ等を通して、皆さんとの繋がりを感じられるところが嬉しいです。これからもご迷惑をおかけするかと思いますが、ご指導(話し相手も…)お願い致します。

私は、まだ加入したばかりで、分からないことだらけですが…何かあった時に話を聞いてくださる〴〵仲間、がいるというのは、予想以上に安心感たっぷりです。まだ未加入の新採用者の方々とも、〴〵仲間、になれたら…と思います。

まずは、組合の研修に顔を出してみたら

村上 由季乃さん(利尻町立仙法志小 教諭)

地元で期限付きとして数年働いた後、縁など全くなかった宗谷で働き始めました。あまり積極的ではない性格なりに、校内・近隣の



学校の先生方だけではなく、いろいろな先生方と話をしてみたい、今後異動することになった時にどうしたらよいのだろう…そんな気持ちが積み重なり、組合に加入しました。

組合に入って良かったのは、人脈が増えたことです。管内の先生だけではなく、合同教育研究全道集会などで全道各地の先生と知り合うことができました。また、合同教研や宗谷教組で行っている学び愛フェスタなどに参加することで、自分の関心のある内容について学習でき、いろいろな人の意見や考えを聞いて、授業や指導の際にたくさん取り入れることで、指導の幅も少しずつ広がってきたのではないかと思います。

初めて先輩方に声をかけてもらってから、加入するまで3年以上たっていました。その間も組合の研修に顔を出したりしていたので、すぐに決まなくてもよいと思います。研修の機会に参加してみるだけでも、自分の指導に生かせる部分がたくさんあるので、そこから始めるのもありだと思います。

“ぼっち”じゃない！……ひとり分会から…… その④

新ひだか町立高静小学校分会

田中 ゆき（教諭）

サラブレッドの町

私の学校は日本有数の馬産地にあります。子どもたちにとって馬がいる生活は日常で、町のあちらこちらに美しいサラブレッドが多くみられます。そして日高山脈、太平洋にはさまれた自然豊かな土地でもあります。



集まるのが難しい

そんな自然に恵まれた日高はもちろん土地も広い。ということは管内も広い。ということは…。組合員同士、集まるのが難しいのが現状です。

現在、日高は「道教組日高連絡会」で、連絡会という形です。連絡会はひと月に一回、もしくはふた月に一回くらいのペースで集まっています。場所は皆の中間地点で集まるようにしていますが、遠い所では車で2時間程の距離から来ている先生もいらっしゃいます。それぞれ多忙の中ですが、それでも集まって皆と話ができるのは貴重で、そして大切な時間です。普段なかなか会うことができないので、近況報告がもっぱらですが、管内の

問題についてそれぞれの町の取り組みを聞くこともできます。学校が違うからこそできる悩み相談なんかもあり、とても勉強になるひと時でもあります。

学習会・交流会も一緒に

今、私が勤めている学校は管内で一番、というか唯一の大規模校です。前任校と比べても先生方も常に(!)忙しく、土地柄ののんびりした風土とは正反対な様子です。また他教組の組合員が非常に多い地域で、自校も7割ほどの教職員が加入している状況です。ですが、そんな中でも子どもたちのために協力・協働する姿はどことも変わりません。校長・教育委員会からのトップダウンの内容を、朝の打ち合わせでもたくさんの声をあげて議論を交わしています。また他教組の私に対しても、初任者の頃は勧誘めいたものが多かったですが、今は垣根なく学習会や交流会にも誘っていただくようになり、慌ただしい職場の中では話せない学校の様子などを話せるようになりました。いずれは私も同僚に、気軽に組合のお誘いをし、その魅力を伝えていけるよう頑張っていきたいなあとと思います。

気軽に組合のお誘いをし、魅力を伝えたい



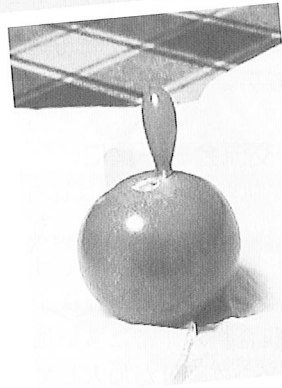
編集後記

先日、福井県のある中学校で14歳の生徒が3月に自殺したというニュースが飛び込んできました。調査委員会の発表によると、昨年10月以降、宿題提出の遅れや生徒会活動の準備の遅れなどを理由に担任や副担任から繰り返し叱責を受けたとなっています。本来、「人格の完成」をめざすべき学校で自死に追い込まれたとしたら、あってはならないことです。先日の全教の会議で、「教師

自身が子どもたちのために良かれと思いながらも、競争教育や生活点検等で追い込んでいることに気を付けなければならない」と発言してきたばかりです。教師が子どもたちを機械的な宿題や生活点検等で追い込み、大人の言う通りの子どもたちを育てようとしたら、学校の息苦しさは増すばかりです。私たちは、今すぐ、自分たちの指導を足元から変えなければなりません。(新保)

わたしのとっておき

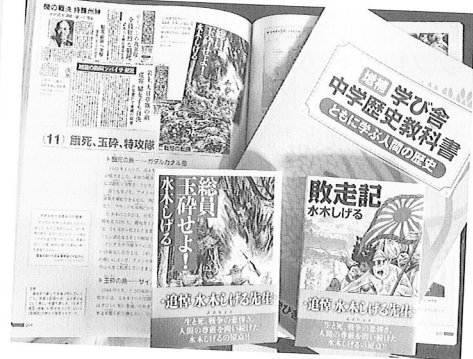
“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



「こんなのができました、我が家のミニトマト」

プランターでミニトマトを栽培しところ、たくさん
のトマトの実の中に、写真のように変形したトマト
ができました。今までも変形トマトを数多く収穫し
てきましたが、一番ユーモアを感じさせた形だった
ので、記念にパチリ……。

【齋藤 秀昭(夕張市・ゆうぱり小学校)】



「この夏、買った本」

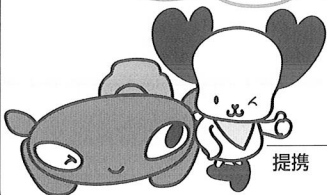
今年の夏に買った本です。話題の学び舎中
学校社会科教科書「ともに学ぶ人間の歴史」。生き
た題材が満載で、考える歴史学習にぴったり。そ
れと漫画家水木しげるの戦記物代表作。なんと教
科書の中で紹介されていました。

【関屋 元(北海道雨竜高等養護学校)】

全教自動車保険

「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント!

タイヤ交換の時期ですね。
峠は雪、遠出は冬タイヤ!
全教自動車保険は、
全力で教職員の身分を守ります。
是非、ご加入を。



提携 東京海上日動火災
保険株式会社

全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の
共済から引き継ぎます
- ②保険料は給料引かまたは口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 **川上企画** (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウェスト12 1階
フリーダイヤル **0120-222-789** FAX **011-218-2472**

道教組

2017年11月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター 3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>